

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。) ※うす黄色のマスは今回掲載分の意見	意見掲載日
伊佐見	3	地域で遊休農地を確認し、周辺の地主の合意の下で農地の集団化のための基盤整備を行い、認定農業者等へ貸し付ける事業に取り組んでいる。本年度は2haの基盤整備を行い貸付ける予定。今後も数カ所の整備、貸付けを検討している。	R3.1.29
伊佐見	3	水田では自作者が減少しているため、自作者を一カ所に集約し、大規模耕作者の農地を集約するとともに大区画化への整備も実施し、効率化促進のための事業も検討している。	R3.1.29
伊佐見	3	地図4831、4799、4767での耕作放棄地を借りたい	R3.1.8
伊佐見	3	2020年春よりカラスの被害が増加している	R3.1.8
伊佐見	3	後継者なし 体力的にない	R3.1.8
伊佐見	3	現在耕作地域がかなり広がっており地域ごとにある程度まとめて増やしていきたい。一枚の面積も2反程度にしていかないと非効率のため耕作地の交換も視野に入れたい。	R3.1.8
伊佐見	3	赤・緑の場所が、実際より少なく思う	R2.12.21
伊佐見	3	認定農業者の土地が、はっきり確認できない	R2.12.21
伊佐見	3	緑エリア(耕作放棄地)が、とても多いと感じた	R2.12.21
伊佐見	3	担い手の割合が少ない?	R2.12.21
伊佐見	3	田も畑も、今後後継者がいない場所が増えて行く。畑で52ha	R2.12.21
伊佐見	3	条件が悪く耕作放棄地となっているエリアは、問題性が高い(通常だと耕作が難しい)	R2.12.21
伊佐見	3	担い手農家との接点のつかみかたが、分からない	R2.12.21
伊佐見	3	図面と現状の差が大。(不耕作地が多い)	R2.12.21
伊佐見	3	担い手の農地が分散している	R2.12.21
伊佐見	3	農地以外にも多く耕作が難しそうな場所がある	R2.12.21
伊佐見	3	畑→耕作放棄地の12%は、市内で多いのか少ないのか	R2.12.21
伊佐見	3	担い手の割合が少ない	R2.12.21
伊佐見	3	担い手との接点、つかみどころが分からない	R2.12.21
伊佐見	3	耕作放棄地が、実際より少ないと思う	R2.12.21
伊佐見	3	水田の拡大がない	R2.12.21
伊佐見	3	このままではいけないとは思いますが…	R2.12.21
伊佐見	3	担い手が少ないが、今後増えるとは思わない	R2.12.21
伊佐見	3	プレ会議の手法、目的は統一されているのか?	R2.12.21
伊佐見	3	地域の話し合い、集いが少ない問題点	R2.12.21
伊佐見	3	担い手の地図を見ると分散している。市内全体をみても灰色か、多く作りにくい	R2.12.21
伊佐見	3	放棄地12%が多いか分からない(説明つきが欲しい)	R2.12.21
伊佐見	3	水田が心配	R2.12.21
伊佐見	3	担い手が少ないが、今後増えるとは思えない	R2.12.21
伊佐見	3	手法(人・農地プラン)が全国統一であるか。→同一でないと成果がまとまるとは思えない	R2.12.21
伊佐見	3	地元の人以外の担い手が多い。→苦情もある	R2.12.21
伊佐見	3	どの農家がいるか分からない。人が分からない地域の人を集めてやる事ができない	R2.12.21
伊佐見	3	人を集めて話す方法を教えて欲しい。地域の人を知って話をしたい	R2.12.21
伊佐見	3	10年前は、元々荒れている所が多かった。今では、湖東高校近くも、最近荒れてきた	R2.12.21
伊佐見	3	30haは、今後余ってくる	R2.12.21
伊佐見	3	No.4736～4830の湖沿いが荒れている	R2.12.21
伊佐見	3	そもそも行けない所に、畑・田があり使えない	R2.12.21
伊佐見	3	部農会の集まりが少なくなっている。→今では生産者部会が、メインとなっている	R2.12.21
伊佐見	3	新たな担い手、耕作者を見つけるのが難しい	R2.12.21
伊佐見	3	使えるハウスを捨ててしまう人がでてしまっている	R2.12.21
伊佐見	3	担い手(借り手)からすると、修繕のコストを考えると、自分で作っている方が良いと考える	R2.12.21
伊佐見	3	地元の知っている人でしか、貸さないという地主が多い(伊佐見等)	R2.12.21